

AA Power Plant マニュアル

このたびは、VOCU DC Power Plantをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機は楽器用コンパクトエフェクター等へ安定したクリーンな電源の供給と、自由自在な電圧選択を実現するために開発された電源供給機です。人体に影響を及ぼすような危険な電圧を発生させる製品ではありませんが、本機を末永くお使いいただくためにも、このマニュアルを最後まで読んでから本機をお使いください。

本機の特徴：

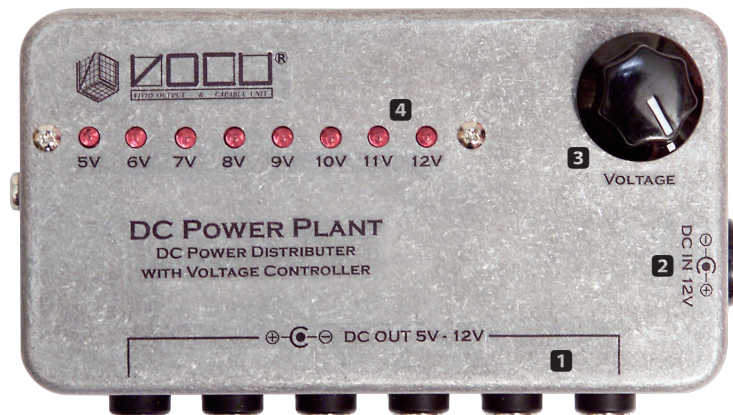
- 電圧コントロール。5V～12Vの範囲で出力電圧を指定できます。電圧変化の無い安定した指定電圧の電源供給。
- クリーン電源。レギュレーター回路により、電源ノイズを抑えます。
- 6電源出力端子。
- カスタマイズ。簡単なハンダ作業で、12V 固定出力と電圧変更出力の2系統の異なる電圧を出力できます。
- ウルトラクリーン電源。オプションのバッテリーパックの装着により、電源ノイズが皆無であるバッテリー駆動のパワーサプライにもなります。電源ノイズに敏感なアナログエフェクターのサウンドが生き返ります。

このような方に最適：

- 省スペースのパワーサプライを探している
- パワーサプライを替えると、音が変わるエフェクターを持っている
- バッテリーライフが尽きる寸前の音が好き
- バッテリー駆動の方がパワーサプライよりも良いのは知っているが、006P バッテリーは高すぎる（オプションのバッテリーパック使用時）
- VIZION Valve Extreme、HIWATT Tube Overdrive を使っている

各部の名称と役割：

- 1 DC アウトプットジャック（センター・マイナス）
センター・マイナスの電源を出力します。
- 2 DC インプットジャック（センター・プラス）
付属のパワーサプライを接続します。
- 3 VOLTAGE コントローラー
出力電圧を増減させます。
- 4 VOLTAGE インジケータ
VOLTAGE コントローラーによって調整された、現在出力されている電圧を表示します。



電源を入れる手順：

- ① 電源ケーブルを接続する前に、本機だけの状態で電源をオンします。付属のパワーサプライをコンセントと DC インプットジャックへ接続します。
- ② VOLTAGE コントローラーを使って、利用する電圧へセットします。
※ LED は、指定電圧の LED が点灯した瞬間が表示電圧ジャストの状態です。
- ③ 付属のパワーサプライを DC インプットジャックから外していったん電源を切り、各エフェクターへ電源ケーブルを接続します。
- ④ 付属のパワーサプライを DC インプットジャックへ接続して本機の電源を入れ、接続した機器もオンの状態にします。
- ⑤ 接続したエフェクターの消費電力によっては、最初にセットした電圧よりも実際の電圧が低くなることがありますので、もう一度電圧をセットします。
- ⑥ 演奏開始

電圧指定時の注意事項：

- 利用する機器の指定電圧以上に電圧を上げることは、その機器にダメージを与えることがあります。製造元指定電圧以上の電圧で使用したことによる製品へのダメージに対して、弊社では責任を負うことはできませんので、利用者の責任において行ってください。
- 利用する製品が、規定電圧よりも高い電圧に耐えられるか否か判断のつかない場合には、電圧を上げて使用しないください。
- バッテリーで動作する機器へ低い電圧を提供しても故障することは基本的にありませんが、長時間その状態が続くことによって何が起きるかは予測することができません。使用後はすみやかに電源を切ってください。
- VOLTAGE コントローラーは、エフェクターボード内で知らずに動いていることがあります。高い電圧で故障する恐れのある機器を接続している場合には、電源を入れる前に本機単独での電圧チェックをしてください。あるいは、いったん VOLTAGE コントローラーを若干下げた状態で電源をオンして、起動後に電圧を再調整してください。
- オプションのバッテリーパック使用時、バッテリーは、電源を切ると若干の自己回復能力を持っています。電源オン直後に必要電圧が出ていてもすぐに電圧が落ちる可能性があります。ライブなどの場合には、事前に新品のバッテリーに交換してください。
- オプションのバッテリーパック使用時、利用するバッテリーの合計電流を超える機器を接続した場合、バッテリーが過熱してバッテリーボックスが変形 / 損傷する可能性があります。多数の機器を同時に接続する場合には合計電流を計算した上で、800mA 以下でご利用ください。

電圧を上げるメリット：

- アナログ機器の場合には音が元気になったり、倍音が増えたり、歪み量が増したりします。
- ⑧ デジタル機器の場合には何のメリットもなく、故障の原因となる可能性があります。必ず指定電圧で使ってください。

電圧を下げるメリット：

- アナログのモジュレーション系エフェクトでは揺れが不規則になります。歪み系やフィルター系では音質がローファイになります。
- ⑨ デジタル機器の場合には動作不能になります。必ず指定電圧で使ってください。

オプション・バッテリー・パック

AA Power Plant と同等の機能を提供するためのバッテリー・パックをオプション販売しています。付属パワーサプライの代わりにバッテリー・パックを接続することで、電源ノイズの全くないスーパークリーン電源となります。詳細は弊社 Web で確認してください。

バッテリー電源のメリット：

- リップルノイズと呼ばれる電源ノイズが全くありません。
- 電圧変動の全く無い安定した電圧が常に供給されます。

バッテリー交換の目安：

- 本機のみで電圧を最大にしたときにアルカリで 10V の LED、ニッケル水素で 9V の LED が点灯しない場合

- 使用しているときに点灯していた LED が自然に減っている場合

※ いずれもライブなどで 1 時間程度の連続使用を保証するための交換目安です。ご家庭で利用する場合には、自己判断で交換してください。

バッテリー毎のメリット / デメリット

マンガン

最もローコストですが、含有電流が少ないために電流を消費する機器を接続した場合には、バッテリーライフが極端に短くなります。アナログのディストーションなど 2 個程度の駆動ならば 006P バッテリーよりも経済的でしょう。

アルカリ

含有電流も多く、最近は価格も低くなっているためお薦めのバッテリー。ただし、12 ボルトをしっかりと供給させたい場合には（ノーブランド電池では 12 ボルトまで電圧が上がらないことがあります）、オキシライドのご利用をお勧めします。

ニッケル水素（エネルギーを含む）

含有電流が非常に多いため、極めてロングライフであり、充電可能なこともあいまって、長い目で見れば最もローコスト。初期投資の高価さがマイナス点。バッテリー 1 本あたりの出力電圧が 1.2 ボルトであるため 12 ボルト駆動は不可能。

オキシライド

含有電流、電圧ともに申し分のない性能。本機では表示できないが 13 ボルトくらいまで電圧を上げることが可能。価格の高さがネック。

パワーユーザー様へ

簡単なハンダ作業で、自身の使用環境に合わせた電源構成へカスタマイズできます。詳細は弊社ウェブで確認ください。

12V 固定出力×1 出力と電圧変換出力×5 出力のハイブリッド仕様

ワイアー 1 本を接続変更するだけで、最も右の DC アウトを 12V 固定出力に変更することができます。これにより、12V と 9V などの 2 つの異なる電圧を本機より供給することが可能になります。

注意！ DC インプットに入力された電圧をそのまま出力させるため、接続されたパワーサプライが出力している電圧によって、得られる電圧が変わります。

ケースのないキット販売もしています。

オリジナルのエフェクトボードなどを自作されるかたは経済的なキットをご利用になれます。基板への部品はマウントされており、LED とジャック類のハンダ付けのみユーザー様に行っていたくキットです。弊社メールオーダーにてご注文ください。

カスタマイズに自信のない方へ

- 出荷時に指定方式に仕様変更できます。（弊社メールオーダーのみ）
- 購入後の弊社改造も受け付けております（有料サービス）。弊社までご相談ください。

本機ご利用上の注意

- センタープラス電極の機器が接続された場合、VOLTAGE インジケータがすべて消灯します。VOLTAGE インジケータが消灯したときには、すみやかにすべての接続を外し、接続した機器の電極極性を確認した後、センターマイナスの機器のみを本機へ接続してください。センタープラスの機器を本機で利用したい場合には、弊社までお問い合わせください。

- 本機入力電源部には、逆接続防止回路は組み込まれておりません。付属のパワーサプライ以外の電源を利用する場合には、接続極に気をつけてください。

- 内蔵 IC の過電流防止回路により、出力電流が約 1.5A を超えた時、本機は出力をシャットダウンします。この機能は、出力端子のショート等（接続しているエフェクターの電源入力部に逆接続防止回路が組み込まれており、本機との接続極を間違えた場合などで）機能することがあります。

- 内蔵 IC の加熱保護回路により内蔵 IC の温度が 125℃～150℃で本機は出力をシャットダウンいたします（長時間の高電流に気をつけてください）。

- シャットダウン後は自動復帰しますので、正しい接続の確認後（加熱時は自然冷却後）再度ご使用になれます。

- 付属の 12V パワーサプライでは、条件によって（コンセントからの電圧が低い、接続している機器の消費電力が大きい、外気温が極端に低いなど）12V の LED が点灯しないことがあります（すなわち 12V を出力することができない）。いかなる条件下でも安定した 12V の出力が必要な場合、15V のパワーサプライに交換することで、より安定した 12V 供給が可能になります。しかし、12V 以上の電圧を監視することができなくなるため、ご利用の際には 12V 以上の電圧が出力されることのないように VOLTAGE コントローラーでの電圧調整をこまめに行ってください。15V パワーサプライに関する情報は、弊社 Web にて確認してください。

DC Power Plant お問い合わせ窓口：

E-mail：support@vocu.jp（返信は翌営業日になります）
TEL：03-3950-5936（祝日を除く月～金の 10:00～17:00）
DC Power Plant 補足情報ページ：www.vocu.jp/DCPP/DCPP.htm